

第24回 名鉄西尾・蒲郡線（西尾駅～蒲郡駅）対策協議会総会 議事録

日 時：令和2年12月25日（金）午前10時～10時40分

場 所：西尾市役所22AB会議室

出席者：（構 成 員）西尾市 近藤副市長

蒲郡市 井澤副市長

愛知県都市整備局交通対策課 片桐課長

（オブザーバー）国土交通省中部運輸局鉄道部監理課 小川課長

名古屋鉄道株式会社鉄道事業本部計画部 名倉部長

[発言要旨]

1 開会（会長：西尾市）

本日の総会は、令和元年度名鉄西尾・蒲郡線の概況、その他として「にしがま線げんき戦略について」現状報告を予定している。

2 報告事項

令和元年度名鉄西尾・蒲郡線の概況について（名古屋鉄道株式会社）

資料1に基づいて報告

3 その他

にしがま線げんき戦略に係る現状報告について（事務局：西尾市地域つながり課）

資料2・3に基づいて概要と現状の報告

4 意見交換

(蒲郡市)

先日、蒲郡市が開催したぶらりんウォークに対し、駅長のご協力など名古屋鉄道様のご支援に感謝。

市の事業として、蒲郡市の小中学校の遠足の際の運賃補助は、昨年度 29 校、今年度は 8 校の申請があった。ボートレース蒲郡では、名鉄電車を利用しての来場者に対し、乗車距離によって 300 円から 500 円の金券配布サービスを行っている。昨年度は 4,310 人（1 日平均 10.7 人）、今年度は 11 月までで 1,656 人（1 日平均 15.5 人）の利用。

名鉄とのタイアップ商品「でんしゃ旅」で、旅館宿泊者に宿泊施設の館内利用券 1,000 円、竹島水族館無料入場券等を配布。新型コロナウイルス感染拡大のために 4 月から 6 月まで低調だったが、7 月から 10 月までで月平均 474 人の利用。

今後、新たな支援策があれば積極的に検討していく予定。

(愛知県)

コロナ禍という経験のない状況下でも、沿線ウォーキングイベントの開催、利用促進大会の web 開催など、関係者の積極的な利用促進策を心強く感じる。県としては、PR 動画作成、SNS による若年層への情報発信など、沿線外から呼び込む誘客推進事業に支援している。

新型コロナウイルス感染拡大前まで利用者が増加傾向で推移しており、特に通勤定期利用者は 10 年間で 20% 増と大きく伸びたが、これは利用促進の成果である。一方、昨年・今年の通学の利用者が減少していることや、新型コロナウイルスの影響による移動の自粛・抑制が長引いていることが懸念される。

今年度でげんき戦略が最終であり、今後 5 年間は非常に重要になってくる。次期計画策定には、現計画の総括、新しい生活様式による行動変容が定着していくことを踏まえ、知恵を絞っていく必要がある。

今後も路線維持に向けた積極的かつ効果的な取組みに対しては県としても支援をしていく。名鉄西尾・蒲郡線の安定的な運行について関係者一丸となって協力していく必要がある。

(中部運輸局)

管内の鉄道事業者の輸送人員は、10 月末時点、対前年比 8 割弱。GoTo トラベルで回復傾向だったが、第 3 波の影響、GoTo トラベル停止もあり、輸送人員の減少が懸念されている。

名鉄西尾・蒲郡線の輸送人員も減少し、厳しいと聞いているがイベントを思ったようにできない中、新しい生活様式に寄り添った取組みの実施に感謝。

名古屋鉄道様におかれては、安心して乗っていただくために、車両の消毒、車内換気、その他、利用者に対して会話を控えめにすること、マスクの着用などアナウンスをしていただき、感謝。

今後は、利用者自身の感染対策も含めて、公共交通が安全であることを正しく伝えていき、社会的認知を高めていくことが重要。両市は鉄道・バス・タクシーの接続が充実している。ネットワーク全体で地域を支えていく取組みを自治体、事業者ともども進めていきたい。

(名古屋鉄道株式会社)

第2四半期決算では、グループ全体としても中間連結決算の開示を始めた2000年度以降初めて赤字決算となり、鉄道事業においても営業収入が前年比40.9%となるなど、非常に厳しい状況となっている。新型コロナウイルスの感染拡大による移動制限や、人との接触を避けることが必要となる新たな社会変化に大きな影響を受けている。この変化はある程度定着すると予想され、鉄道事業にも長期的な影響が及ぶと考えている。

報告のとおり、経常損失は7億円以上という大幅な赤字となっており、一事業者の自助努力だけで路線を存続させていくことは大変厳しい状況。さらに新型コロナウイルスの影響による、鉄道利用の激減によって本年度の経常損失は大幅に膨れ上がる見込み。このような状況においては、例えば設備を更新する際は仕様を簡素化するなど、徹底的な経費節減による一歩踏み込んだ収支改善策が必要となる。

このような状況だが、引き続き地域の皆さまに安心して利用していただけるよう感染防止策を徹底しながら安全運行に努めていく。

(西尾市)

名鉄西尾・蒲郡線については、厳しい収支状況が続いているが、路線の運行について多方面からのご努力に感謝している。また、県都市整備局様からの誘客推進事業に対するご支援に感謝。

西尾・蒲郡線は西尾市の公共交通の基軸を成し、この路線の存続と沿線地域の発展は一体であり、欠かせない路線と認識。吉良地区には大手企業の進出が予定されており、さらに沿線の重要性が増している。

今年4月、運行継続及びこれに係る支援について確認書を締結できた。令和3年度から7年度までの5年間、運行が継続される。これもひとえに、関係機関の皆様のご尽力と名古屋鉄道様のご英断のたまもの。特に学生の進学の実現が広がり、こどもたちの将来にとって非常に意義がある。

現在、日本中が新型コロナウイルス感染症の猛威にさらされ、鉄道をはじめとする公共交通は大きな危機に直面している。こういった局面に皆が知恵を持ち寄り、耐え忍べばポストコロナを見据えた新たな展開が見えてくるものと信じている。

以上